※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国際人材科

教科	国際人材	科目	(学)セレンディピティ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	ENAGEED CORE 2.1 H Vol1,Vol3（電子教材）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、課題研究を行う上で必要な手法や技能を習得します。課題研究では、自分がこれまでに学んできたこと、現在の興味・関心、論理的かつ批判的な思考力、課題解決までのスケジュール調整能力、他者との協働力などいろいろな力が求められます。意欲的に取り組むことで、自分を一回りも二回りも成長させることができます。

自分で課題を見つけ、その解決方法を試行錯誤しながら探し、見つけ出した解決法（結論）をプレゼンテーションによって発表して他者と共有するという一連の流れは、大学での研究や、社会に出てからも必ず求められるものです。この一連の流れを楽しむ気持ちを持って臨んでほしいと思います。

また、課題研究に初めて取り組む人がほとんどです。積極的に質問等もしてください。一人で進めてしまうと上手くいかない部分（外部との連携など）もあります。他者と協力し、よりよい研究となるようにしましょう。

２　学習の到達目標

・研究テーマに対する知識を深めるための情報を集め、まとめる方法を習得し、研究方法と研究倫理について理解した上で、課題を見つけることができる。【知識・技能】
・調査によって得た情報を客観的な根拠として論理を組み立てる思考力を養い、また、得た情報が研究課題に適切なものか判断する力､実験や調査等の方法の結果をわかりやすく適切に表現する力を養う。【思考力・判断力・表現力】
・課題研究において必要な、何をすべきか自分で考え実行する力を養い、足りない知識・技能を他者と協力しながら協働する力、研究の中で興味・関心の幅を広げ、自分と他者との考え方の違いを知りながら課題解決へと繋げられる人間力の育成をめざす。【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	課題研究の各段階における手法、論文の作成・執筆方法、様々なプレゼンテーション方法やその技法について理解している。	自ら見つけた研究課題に向き合い、まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていくことができる。ディスカッションや発表を通して、他者に自分の考えをわかりやすく適切に表現することができる。	計画的に課題研究に取り組み、積極的に多方面へ働きかけるなど、自ら進んで課題研究に取り組む態度が見られる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	研究テーマを決める	・課題研究とは何か？ ・課題研究のステップ ・課題研究で身につく力 ・情報源，情報の集め方 ・言葉の意味・定義，マジックワード ・社会に存在する課題(SDGs など) ・学術分野の課題 ・自然科学・数学に関する課題研究の特徴	a:課題研究と調べ学習との違いを理解し、研究をするにあたり注意すべきことがわかる。身近な情報源について知り、社会に存在する課題と学術分野の課題を知っている。 b:課題研究で身につく力について考えることができる。自分の興味のあるキーワードの定義を明確化し、集めた情報を統合することができる。自分の興味・関心と社会課題や学術分野との関連について、周囲に伝えることができる。 c:自分の興味のあるキーワードについての情報を収集しようとする。自分の興味・関心と社会課題や学術分野との関連について、他者と話し合い、知見を広げようとする。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察 ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	リサーチクエスチョンを導く	・問いの立て方 ・問いからリサーチクエスチョンへの導き方 ・先行研究・事例の読み方	a:問いの種類・例について知る。データベースや先行研究・事例の活用について理解する。「概念化」と「具体化」の関係を知り、リサーチクエスチョンを導く際に役立てる。先行研究・事例を収集する際の留意点や着目ポイントなどを理解する。 b:データベースや先行研究・事例を活用し、自分の研究テーマに対して問いを立てることができる。立てた問いがリサーチクエスチョンになるか判断することができる。 c:自ら進んで情報を収集し、自分の研究テーマに対して問いを立てようとする。立てた問いがリサーチクエスチョンになるかどうかを考えようとする。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート 観察 ポートフォリオ
2学期	仮説を立てる	・仮説の立て方	a:仮説を立てるポイントや、検証する方法を理解する。 b:論理立てて仮説を立てることができる。立てた仮説やその根拠を他者へわかりやすく伝えることができる。 c:自ら考え、仮説を立てようとする。他者の意見を取り入れ、さらに深めようとする。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察 ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	適切な研究方法を選ぶ	・文献調査の進め方 ・アンケート調査の進め方 ・インタビュー調査の進め方 ・参与観察・現地調査の進め方 ・実験の進め方	a:さまざまな調査・実験方法を知る。研究を進めるうえで守るべき規範（研究倫理）を理解する。実験や調査を行う際の危機管理について理解する。調査や実験を実施する際の記録の重要性について理解する。 b:これまでに学んだ調査・実験方法をもとに、適切な研究方法を考えることができる。実験や調査を行う際の危機管理について理解し、自分が行う場合に起きうる危機を考えることができる。 c:自分の研究に対して、適切な研究方法を考えようとする。自分の選んだ調査・実験方法が研究倫理への抵触、危機管理上の問題点がないか考えようとする。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート 観察 ポートフォリオ
3学期	研究計画書を作成する	・研究計画書の書き方	a:研究計画書を作成する上での留意点を理解する。 b:必要に応じて「リサーチクエスチョンを導く」「仮説を立てる」「適切な研究方法を選ぶ」を繰り返し、自分の研究について深めることができる。自分の立てた研究計画を他者へわかりやすく伝える。 c: 他者の研究計画書の発表に対し具体的・建設的な質問をする。他者の研究計画書の発表に対し評価・コメントをする。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	ワークシート 観察 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度